

い
「四季かおる つながり 安心 活きるまち」の実現に向けて
＝着実に動き出した蓮田市＝
～子育て・教育・基盤整備を中心に～

1. 新型コロナウイルス感染症対策について…1p
2. 蓮田駅西口第一種市街地再開発事業について…2p
3. 蓮田サービスエリア(上り線)及びスマートICのフルインター化について…4p
4. 蓮田都市計画事業(仮称)高虫西部土地区画整理事業について…6p
5. 蓮田駅西口通線延伸工事について…7p
6. 県道蓮田鴻巣線歩道整備事業について…7p
7. 県道蓮田杉戸線整備事業について…7p
8. 東埼玉病院周辺整備について…8p
9. 蓮田松韻高校までのバス路線の延伸について…8p
10. ほ場整備事業「県営」閩戸地区の概要…9p
11. 蓮田市役所西棟新築工事について…10p
12. 保育園の建設、こども医療費の助成…11p
13. 小・中学校の状況…14p
14. 史跡黒浜貝塚の整備について…15p
15. 蓮田市総合文化会館ハストピアの概要…18p
16. 街路灯LED化について…19p
17. 在宅医療・在宅介護事業の推進…20p
18. 山ノ神沼周辺について…21p
19. 黒浜沼周辺の整備について…21p
20. 環境学習館新築工事について…23p
21. はなみずき作業所新築工事について…24p
22. JR宇都宮線の利便性向上について…24p
23. 蓮田市の財政状況…25p

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策 主な事業

「蓮田市新型コロナウイルス対策本部会議」を設置し、令和4年3月末までに92回の会議を重ね、市の感染症対策の方針を決定し、全庁的に取り組んでおります。

市民の皆様への生活支援としては、水道料金の基本料金とメーター使用料の減額、有料指定ごみ袋の無料配布を実施し、経済支援としては、小規模事業者等支援金、家賃支援金の交付、新生児特別定額給付金等を実施してまいりました。

また、県内でいち早くアイソレータを導入し、感染防止を徹底しながらの救急搬送を行っており、PCR検査会場への移動手段がない方に対しては、ネットヨタ東埼玉株式会社から無償貸与を受けている飛沫循環抑制車両を活用し、送迎サービスを実施しております。

今後は、ワクチン接種の進捗状況を踏まえ、経済活動の迅速な再開に向けての支援、さらには新型コロナウイルス収束後を見据えた、総合的な施策についても、推し進めてまいります。

ワクチン接種の状況

◆新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため接種を進めています

蓮田市では現在、主に12歳以上の3回目接種と5歳から11歳のかたの1・2回目接種を行っています。（令和4年3月25日から新たに、12歳から17歳のかたが3回目接種の対象となりました。）

令和4年4月11日時点で3回目の接種を受けたかたの割合は、65歳以上で約89.1%、12歳以上で約52.3%となっています。

また、国からの指示を受け4回目接種に向けた準備も進めています。3回目接種からの間隔や接種対象など詳細が国から示され次第、開始できるよう努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の状況

◆新型コロナウイルス感染症対策の周知に努めています

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、極めて高い水準で推移しております。マスク着用や手洗い、手指消毒をはじめ、換気や3密の回避等の基本的な感染予防行動について、引き続き市民の皆様のご協力をいただくよう、周知に努めております。また、感染状況を踏まえた、安心・安全な市民生活を守るための施策について、検討していきます。

2. 蓮田駅西口第一種市街地再開発事業について

事業の概要

再開発事業の3本の柱のうち、幹線道路及び駅前広場は平成25年3月までに完成し、最後の柱である再開発ビルが令和2年10月に完成しました。

令和3年3月に区域内の緑地整備、事業の清算が完了し、昭和60年の都市計画決定から35年を経て、蓮田駅西口第一種市街地再開発事業が完了しました。



再開発ビルの概要

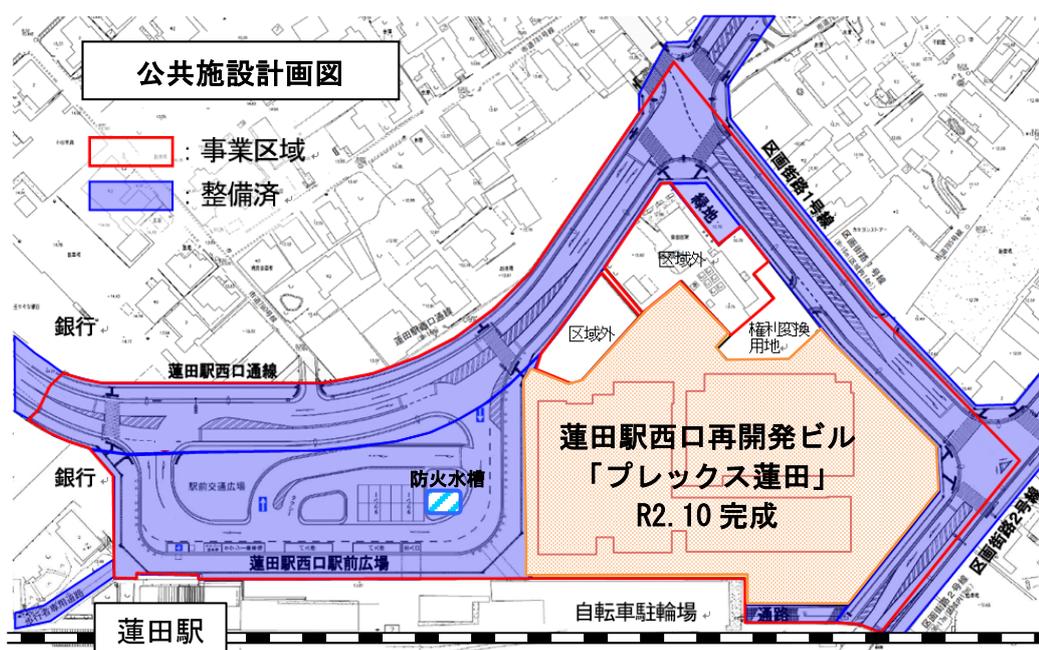
敷地面積 6,821.11 m² 建築面積 4,177.94 m² 延床面積 21,741.49 m²

構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上14階(高さ43.54m)

住宅戸数 168戸 駐車台数 223台(自走式立体駐車場)

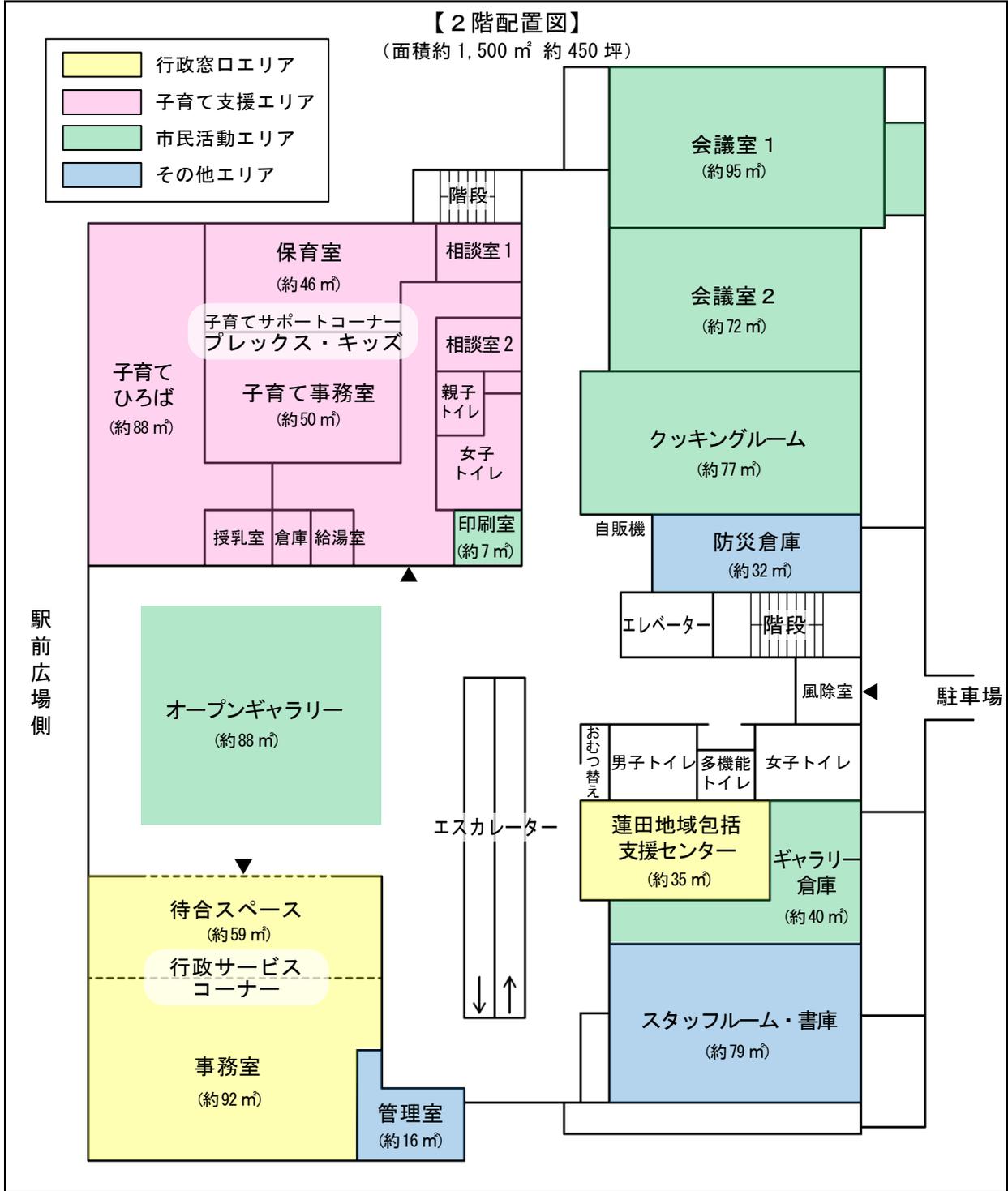
用途 住宅、診療所、店舗、公益施設(子育て支援・行政窓口・地域包括支援センター・オープンギャラリー・クッキングルーム・会議室等)、公益施設(保育所)、駐車施設

事業の整備状況



公益施設

蓮田駅西口行政センター配置図



行政窓口エリア

行政サービスコーナーでは住民票や各種証明の交付のほか、転入・転出の受付や出生・婚姻などの戸籍届出、その他市役所窓口業務の一部を行っています。また、高齢者の相談窓口として「蓮田地域包括支援センター」を設置しています。

子育て支援エリア

妊娠から出産、子育ての総合窓口として、子育てひろば、保育室、子育て世代包括支援センター、ファミリー・サポート・センター、子育てコンシェルジュを集約した、子育てサポートコーナー「プレックス・キッズ」を開設しています。

市民活動エリア

オープンギャラリーでは、絵画や書道の展示が行えるほか、サークルの打合せや待合せなど、フリースペースとしてもご利用いただけます。また、さまざまな活動やセミナー等に利用できる会議室、クッキングルームを備えています。

3. 蓮田 SA(上り線)及びスマートICのフルインター化について

東北自動車道 蓮田サービスエリアの慢性的な混雑解消や利便性の向上、交通安全対策の強化などを目的として、川島地区内に、令和元年7月29日、上り線専用の新蓮田サービスエリアがオープンしました。

新蓮田サービスエリア(上り線)には、従来の蓮田サービスエリアと比較して、小型車の駐車場が2.5倍の約350台分、大型車の駐車場が4倍の約120台分が整備されました。商業施設は約2倍に拡張され、「Pasar(パサル)蓮田」(上り線)として営業しています。

一般道側から利用できる駐車場も約90台分整備され、高速道路の利用者以外のかたも商業施設を利用することができるようになっていきます。また、ヘリポートや防災倉庫など、大規模災害における防災拠点化機能も備えています。



現在、蓮田スマートICは、普通車・軽自動車・自動二輪車限定で東京方面への入口と東京方面からの出口が利用できます。

蓮田市では、ネクスコ東日本のサービスエリア改築計画に合わせ東北・宇都宮方面への入口と出口の設置と利用車種を大型車まで拡大するフルインター化の検討を国、県、ネクスコ東日本、警察などの関係機関と進めてきました。その結果、令和元年9月20日には、蓮田サービスエリアのフルインター化について国土交通大臣から連結許可が下りました。

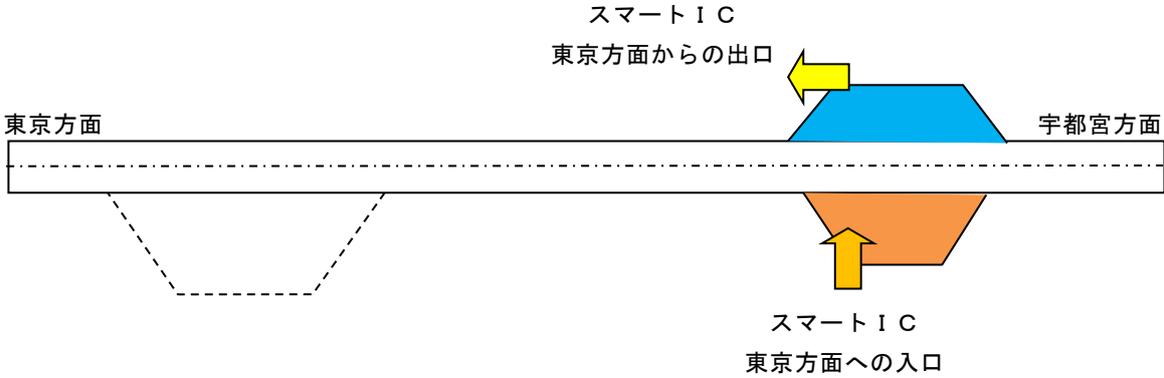
令和4年4月24日15時には、蓮田サービスエリア(上り線)に東京方面への入口と宇都宮方面からの出口がオープンいたします。

また、黒浜地内にある上り線サービスエリア(閉鎖中)と下り線サービスエリアを2本の橋で接続し、下り線専用のサービスエリアに改築する計画が進行中です。

今後は引き続き、国、県、ネクスコ東日本、さいたま市、白岡市などの関係機関、地権者や市民の皆様のご理解、ご協力を得ながら、フルインター化に向け整備を進めてまいります。

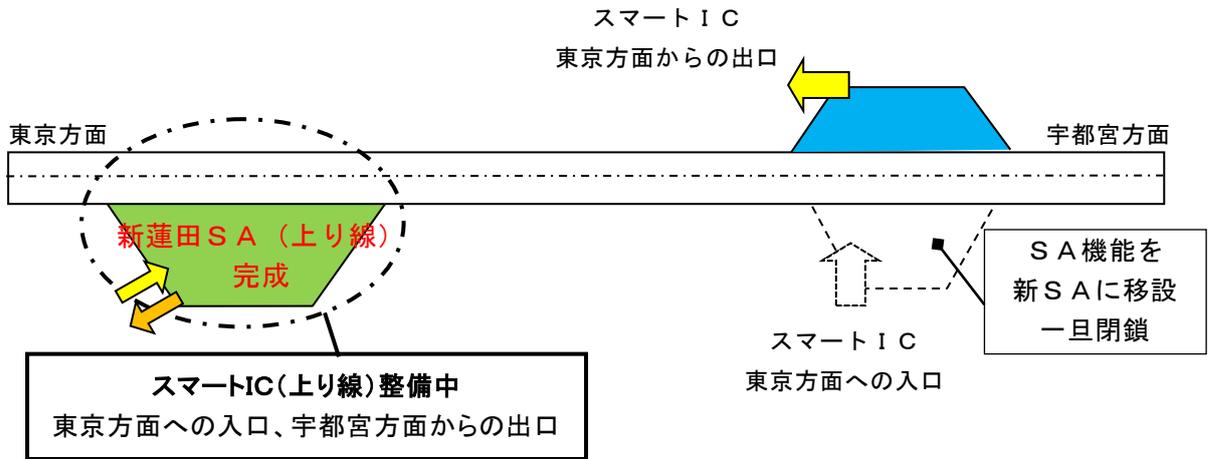
蓮田SA（改築計画）・スマートIC整備（フル化計画）について

①蓮田SA改築前

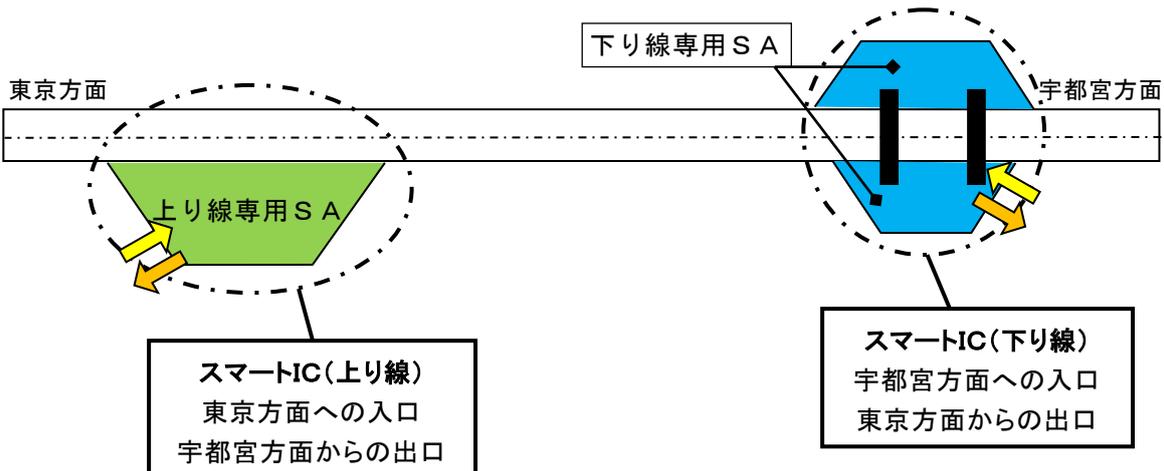


②蓮田SA（上り線）完成 **（現在）**

スマートIC（上り線） 令和4年4月24日（日）15時 開通



③蓮田SA改築完了 （スマートIC完成〈最終形〉）



4. 蓮田都市計画事業(仮称)高虫西部土地区画整理事業について

高虫西部地区における産業団地の整備

高虫西部地区は、第5次総合振興計画及び都市計画マスタープランにおいて、工業・流通業務系ゾーンとして位置づけられており、市が産業団地の整備を最優先で進めている地区です。この地区は市街化調整区域に指定されていますが、産業団地を創出するため、区域区分の見直しを行い、市街化区域への編入を進めます。

現在、地権者組織である土地区画整理組合設立準備会、業務代行予定者のエム・ケー株式会社、造成工事に関する支援を行う清水建設株式会社及び市が役割分担のうえ、区画整理組合設立認可に向けた作業を進めています。

これまでの経緯

平成19年12月	第4次総合振興計画の土地利用構想に産業集積ゾーンとして位置付け 地元自治会等から市議会へ「高虫地区に産業立地の推進に関する請願」 が提出され、議員総員で可決される
平成23年12月	
平成25年10月	「高虫土地利用推進協議会」が設立
平成30年10月	「高虫西部地区土地区画整理組合設立準備会」の結成
令和元年9～11月	準備会による土地区画整理事業業務代行予定者の募集及び決定
令和元年11～12月	県条例に基づく環境影響評価調査計画書の縦覧・説明会
令和2年3月	準備会と業務代行予定者が「土地区画整理事業の推進に係る覚書」を締結
令和3年3月～	県環境影響評価条例に基づく現地調査
令和3年12月	準備会、エム・ケー(株)及び清水建設(株)が事業推進に関する協定書を締結

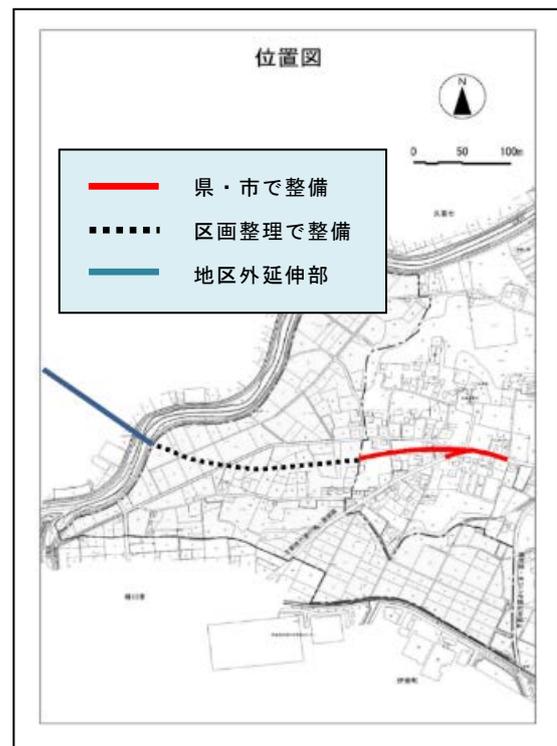
施行予定区域

施行面積:約26.3ha
区域区分:市街化調整区域(無指定地域)
農振農用:青青
農地区分:第1種農地

行田蓮田線バイパスの整備

産業団地整備区域内には、高虫交差点から主要地方道 川越栗橋線を結ぶ行田蓮田線のバイパス計画(幅員15m)があり、埼玉県と協議を進めています。令和元年度にはバイパス計画のうち、蓮田市内の区間について、県と市で「高虫西部地区産業団地(工業団地)の開発に伴う主要地方道行田蓮田線バイパスの整備に関する覚書」を締結しました。

土地区画整理事業の造成工事が完了するまでの供用開始を目標とし、バイパス整備を進めていきます。



5. 蓮田駅西口通線延伸工事について

- 整備延長 : 約 430m(未整備区間)
道路区分 : 4種2級
計画交通量 : 7,400 台 ~ 9,500 台
設計速度 : 40km/h
道路幅員 : 16m(交差点部は18m)
車道幅員 : 9m
歩道幅員 : 3.5m
現 状 : 平成31年3月1日、事業認可取得のための説明会を開催
令和2年11月2日、事業認可取得
今後の予定 : 用地買収のための交渉を進める予定

6. 県道蓮田鴻巣線歩道整備事業について

蓮田駅東口周辺地区の歩行者の安全の確保や中心商業地としての賑わいを創出するため、県道蓮田鴻巣線の第一岩槻踏切から、蓮田駅東口黒浜線の交差点まで約 195mの区間の両側に2.5mの歩道を整備し、全幅員12mとします。

- 現 状 : 平成30年4月2日、埼玉県杉戸県土整備事務所と蓮田市で「一般県道蓮田鴻巣線歩道整備事業の事務委託に関する基本協定書」を締結
令和3年4月28日、埼玉県と蓮田市で「令和3年度一般県道蓮田鴻巣線歩道整備事業委託契約書」を締結し、歩道整備事業に必要な土地の取得及び物件の移転並びに登記に関する業務を蓮田市が受託
今後の予定 : 蓮田市が用地を確保し、街区単位を基本に歩道を整備する
(概ね10年間で完成することを目標)

※令和4年2月1日現在進捗率

買収予定面積 約 759 m²中 買収済面積 約 220 m² (約29%)

7. 県道蓮田杉戸線整備事業について

現在、埼玉県杉戸県土整備事務所が主体となり、蓮田駅東口駅前広場入口の交差点から黒浜小学校付近の県道蓮田杉戸線に至るまで、新設道路整備事業を進めています。

- 整備延長 : 約 580m(全体計画 約 1,940m 整備済み区間 約 1,360m)
道路区分 : 4種2級
設計速度 : 40km/h
道路幅員 : 14m
車道幅員 : 7m
歩道幅員 : 3.5m
現 状 : 埼玉県が、藤ノ木坂交差点から未整備区間の用地買収を進めており、現在の取得率は8割強
今後の予定 : 継続して用地買収を進める予定

8. 東埼玉病院周辺整備について

平成29年度に黒浜公園・東埼玉病院周辺整備基本計画を策定し、黒浜公園の再整備を行うとともに、東埼玉病院敷地の一部と財務省所有地、黒浜日野手緑地を含めた大規模な公園の整備を予定しております。現在、計画の実現に向け、財務省および東埼玉病院との土地利用計画を含めた協議を進めております。

・ 市道 1463 号線等整備事業

現在、県道蓮田杉戸線から東埼玉病院敷地内を通り、蓮田松韻高等学校へ抜ける新設道路の整備事業を進めています。

整備延長：約 720m 道路区分：3種4級 設計速度：40km/h

道路幅員：12m 車道幅員：7m 歩道幅員：2.5m

現 状：平成30年度から、東埼玉病院敷地内の新設道路(市道 1472 号線)の工事を開始し、病院正門付近までの道路築造工事が概ね完了した。

今後の予定：新設道路(市道 1472 号線)の早期開通を目指す。



9. 蓮田松韻高校までのバス路線の延伸について

現在、蓮田松韻高校へのアクセスは、朝日バスの東埼玉病院バス停が最寄りとなっています。東埼玉病院行きのバスは、蓮田駅東口から平日は49本、休日は39本運行されており、蓮田松韻高校の生徒にも多く利用されています。しかし、東埼玉病院バス停から蓮田松韻高校までは、徒歩で約8分かかります。

平成28年7月21日には、蓮田松韻高校から、バス路線の延伸、新たな道路整備、夜間照明の増設を求める要望書をいただきました。これを受け、市では現在、東埼玉病院敷地内に新設道路(市道 1472 号線)の整備を進めています。また、黒浜公園・東埼玉病院周辺整備基本計画において、バス転回場の整備も計画しています。今後は、道路整備の進捗を見ながら、朝日自動車(株)と蓮田松韻高校までのバス路線延伸に向けた協議を進めていきます。

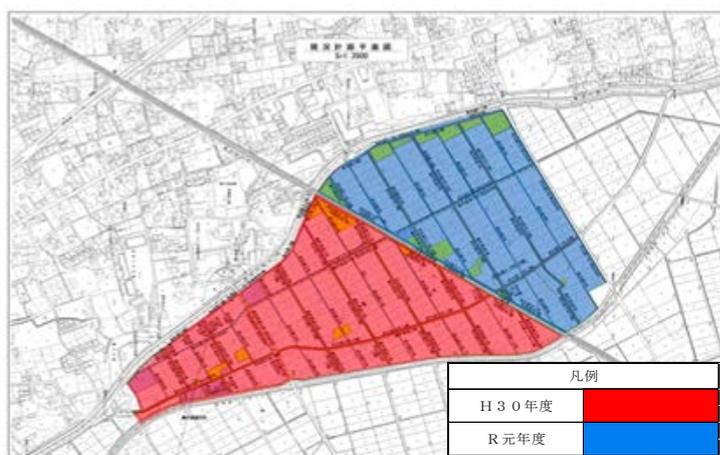
10. ほ場整備事業「県営」関戸地区の概要

事業の目的

本区域は、蓮田市の中西部に位置し、西側を一級河川綾瀬川と東側を見沼代用水に囲まれた38.5haの水田地帯です。

地区内の農地は、昭和8年～11年に耕地整理により10a区画に整備されましたが、現在の農業機械では区画や道路が狭く、ほ場内の用排水路の大半は用排分離されているものの土水路で、用水の適正な配分や排水の流出に支障をきたしている状況にあります。また、農業者の高齢化や後継者不足に伴い、農地の維持保全が困難な状況となっています。

そのため、地域の将来像を描いた営農ビジョンに基づき、農地中間管理事業と連携を図りながら、担い手への農地集積に必要な基盤整備を迅速に行う「埼玉型ほ場整備事業」を実施し、農業競争力の強化を図っております。



【整備後】



事業の概要

事業名：ほ場整備事業(埼玉型)

受益面積：34.0ha(水田:32.0ha 畑:2.0ha)

総事業費：370,700千円(工事費 291,000千円、測量・設計費 79,700千円)

事業期間：平成29年度～令和2年度

負担区分：国50%、県27.5%、市22.5%、地元0%※

全体事業量：ほ場整備工 38.5ha、農業用排水施設10.5km、農作業道4.2km

進捗率：100%(令和2年5月29日 工事完了)

※地元負担0%について …… 道路、用排水路の用地を所有者が寄付採納し、12.5%の地元の負担分は市が負担する方法で事業を行った。

1 1. 蓮田市役所西棟新築工事について

建設に至る経緯

- ・ シルバー人材センターの旧事務所は、関山3丁目にある旧福祉事務所を使用していたが、耐震基準を満たしていないため建て替えが必要となった。
- ・ 関係各課で構成する庁内検討会議を設置し、移転を含め、場所の選定等の検討を行い、市役所庁舎西側敷地への移転に決定した。
- ・ この検討会議において、建築における基本計画を作成。庁舎敷地内であるため、市役所会議室および倉庫棟併用の建物とすること、同所に駐車場整備も行う等の基本計画となった。

蓮田市役所西棟新築工事の概要

- ・ 平成30年度の事業として同所の樹木伐採及び文化財発掘調査を実施した。また、建物の実施設計を行った。
- ・ 令和2年3月に工事が完了し、引き渡された。
- ・ 駐車場整備による駐車台数は、来客駐車場を含め47台を整備した。
- ・ 建物の名称は「蓮田市役所 西棟」に決定した。

建物の概要

<建築費> 建築 318,890 千円、機械 41,052 千円、電気 29,568 千円
鉄筋コンクリート造、2階建て、切妻屋根、エレベーター完備
建築延床面積 合計約 783 m²

(シルバー人材センター事務所部分約 270 m²、
市役所会議室及び書庫等倉庫部分約 320 m²、共用部分約 193 m²)



12. 保育園の建設、こども医療費の助成

市では、保育園の待機児童の解消を図るため、公立保育園の新設や改築について計画的に取り組むとともに、民間活力を活用し、学校法人や社会福祉法人が行う保育園の整備費の一部や開園後の施設の運営費に対し補助金を交付しています。

また、子どもが必要とする医療を容易に受けられるようにするため、満18歳の年度末までの入院・通院にかかる保険診療分の一部負担金を助成しています。

※認定こども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育園の両方の良さをあわせ持つ施設です。

保育園の建設

① 蓮田ねがやど保育園

- 所在地 蓮田4-79
- 建物概要
1階建、延床面積 627.70㎡
- 定員 90名
- 開園 平成22年5月1日



② 認定こども園しらゆり

- 運営主体 学校法人 慶和学園
- 所在地 御前橋1-5-5
- 建物概要
3階建、延床面積 1490.79㎡
- 定員
幼稚園 60名
保育園 90名
- 開園 平成26年4月1日



③ 花星こども園（旧花星保育園）

- 運営主体 社会福祉法人 ^{のあ}希空
 - 所在地 閏戸2796
 - 建物概要
2階建、延床面積 644.50㎡
 - 定員 78名
 - 開園 平成28年4月1日
- ※令和3年4月1日、認定こども園へ移行。移行後の定員は、
- 幼稚園 6名
 - 保育園 77名



④ 蓮田みぬま保育園

●所在地 見沼町 4-3

●建物概要

2階建、延床面積 756.00 m²

●定員 80名

●開園 平成 28年 10月 11日

※中央保育園の改築中は代替園舎として利用し、平成 30年 4月 から新園として開園しました。



⑤ 中央保育園

●所在地 上 2-11-2

●建物概要

2階建、延床面積 766.00 m²

●定員 90名

●開園 平成 30年 4月 1日

※保育室のほか、一時保育室、子育て支援センターも整備しました。



⑥ 東保育園

●所在地 東 5-8-32

●建物概要

【保育室棟】

2階建、延床面積 446.40 m²

保育室（0～5歳児）、一時保育室

【事務室棟】

2階建、延床面積 75.61 m²

●定員 65名

●開園 平成 31年 4月 1日

※保育室のほか、一時保育室も整備しました。



⑦ とねの会はすだ保育園

●運営主体 社会福祉法人とねの会

●所在地 蓮田 3-141

●建物概要

2階建、延床面積 約 788 m²

●定員 72名

●開園 令和 2年 4月 1日

※保育室のほか、一時保育室、子育て支援センターを併設。



⑧ 星の子ルチア保育園

- 運営主体 社会福祉法人彩恵会
- 所在地 馬込1-68
- 建物概要
2階建、延床面積 約783.41㎡
- 定員 90名
- 開園 令和4年4月1日



⑨ 幼稚園型認定こども園大山幼稚園

- 運営主体 学校法人大山学園
 - 所在地 閩戸4034
 - 建物概要
2階建、A棟、B棟、C棟
延床面積 1,994.06㎡
 - 定員 39名（保育園部分）
 - 開園 令和4年4月1日
- ※幼稚園からの移行



こども医療費の助成

- 対象 満18歳の年度末までの入院・通院にかかる保険診療分の一部負担金（高額療養費等の制度から支給されるものを除く）
- 事業費 216,308千円
うち、県費26,600千円（就学前児童分のみ）
- 制度改正 令和3年1月診療分から、こどもの対象を満18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある者に拡大
令和4年10月診療分から、現物給付の範囲が、埼玉県内に拡大予定

13. 小・中学校の状況

蓮田市の小・中学生の学力は県内上位

○令和3年度の全国学力・学習状況調査

小・中学校ともに、国語、算数・数学で、県と全国の平均を上回りました。

○令和3年度の埼玉県学力・学習状況調査

小学校4年生から6年生の国語、算数、中学校全学年の国語、数学、英語のほぼ全領域で、県の平均を上回りました。特に、小学校5年生の算数の伸びは大きく、小学校4年生から中学校1年生の算数・数学は、県の平均を大きく上回っていました。

GIGAスクール構想

国が推進するGIGAスクール構想に基づき、高速大容量の校内LAN整備と、児童・生徒・教員用のタブレットパソコン 4,700 台の整備を令和2年度に完了しました。

令和3年度は、1人1台端末の基本的な操作に慣れることを目指し、学習支援アプリ等を発達段階に応じて活用し、児童生徒の興味関心を高める授業づくりを推進しました。

小・中学校校舎等耐震化について

学校施設の耐震化を最優先に取り組み、平成27年度にすべて完了しました。

- 小学校21棟(校舎13棟・体育館5棟・給食棟3棟)[平成12～27年度]
中学校12棟(校舎8棟・体育館4棟)[平成19～26年度]
- 事業費 2,551,133 千円(小学校 1,413,636 千円・中学校 1,137,497 千円)

小・中学校普通教室にエアコン設置

小・中学校の普通教室にリース方式でエアコンを設置し、児童生徒の快適な学習環境を整え、平成29年6月から全校一斉稼働しました。

- 設置教室数 180 教室(小学校8校 120 教室・中学校5校 60 教室)
- 令和3年度予算(リース料)39,788 千円(小学校 26,918 千円・中学校 12,870 千円)
リース期間10年 平成29年6月～令和9年5月 〈参考〉397,872 千円



室内機



室外機

14. 史跡黒浜貝塚の整備について

黒浜貝塚は、南関東の自然環境の変遷や当時の生業を考える上で重要な史跡といわれています。集落の構造は、中期以降顕著となる環状集落の始まりとも見られており、集落の変遷を考える上で貴重だとして、平成18年に国史跡に指定されました。

また、関東地方を中心とした約 5,500 年前の縄文時代前期中葉「黒浜式土器」の標式遺跡としても著名な遺跡のひとつです。

黒浜貝塚は市街化区域に立地し、また、蓮田市役所南側に隣接し豊かな自然を残した場所に位置しています。史跡として指定された面積は、50,183.49 m²、市役所を一体とすると、総面積は約 74,000 m²になります。この遺跡は、縄文時代の集落として窪地状広場の造成、貝採集のための硬砂層の利用等、縄文人の具体的な行動様式などを知ることができる貴重な歴史遺産です。

黒浜貝塚は市役所に隣接することから、貴重な歴史遺産、自然環境学習の場として活用するだけでなく、ウォーキングや自然散策の場として市民憩いの健康づくりゾーンともなります。今後、市役所と一体として活用することにより、市民協働の拠点など多方面にわたる様々な活動の場所となると考えています。

これまでの経緯

平成27年度	椿山のムラの竹林の伐採、縄文の森の復元、住居の表示、園路の造成が完了
平成28年度	椿山のムラと宿浦のムラを連絡する擬木橋の設置、水辺の生活の場エリアの浚渫と水の流れの確保、樹木の植栽が完了
平成29年度	低地の生活の場エリアの一部と縄文の海エリアの工事が完了
平成30年度	宿浦のムラの造成、低地の生活の場エリアの園路路盤造成等が完了
令和元年度	トイレ建築、案内・解説板の設置、展示館内ガイダンスシステムの構築が完了
令和2年度	一部の園路舗装、史跡内ARアプリケーションの作成が完了
令和3年度	一部の園路舗装・解説板の設置が完了
令和4年度	整備完了予定

今後の進め方

令和4年度中の全面供用開始を目指し取り組んでまいります。



平成27年市民植樹風景 (2015.10.10)

※整備途中での整備状況公開、市民植樹を各年度実施予定です

4号住居跡から発見された貝塚



※将来的に3D写真などに活用する予定です

文化財展示館



※縄文人が活動するイメージ画像や縄文海進の3D画像は、文化財展示館で貸出を行う予定です

凡例

- ★ ARポイント
- ▲ 出入口
- 〓 遊歩道(舗装園路)
- 〓 自然歩道(未舗装園路)
- 既存樹木
- 新植樹木



整備前の椿山のムラ(竹林)



整備後の椿山のムラ
(落葉広葉樹の森への植栽変更)



黒浜貝塚：縄文の森復元計画（案）

低地の生活の場エリア

現状	・ヨシ群落の密生 ・水路に沿ってアカメヤナギ群集が成育
植生変更	・ヨシ群落の除去と盛土による陸地化及び「自然傾斜地形」の造成。 ・アカメヤナギの伐採、除去。 ・低地の縄文の森の復元（クルミを含む）。
新植樹種	【高木】ヤマザクラ・イヌザクラ・マユミ・ウワミズザクラ等 【低木】コムラサキ・ヤマハギ・ニシキギ・ヤマブキ・ガクアジサイ等 【食用下草類】ヨモギ・オギ・カンゾウ（ヤブカンゾウ、ノカンゾウ）・ワレモコウ・ノビル・イタドリ・ミツバ（ウマノミツバ）・ゼンマイ・アケビ・カラスウリ・サルナシ等

水辺の生活の場エリア（ヨシ・カササゲ群落の保全管理）

現状	・ヨシ群落の密生 ・水路に沿ってアカメヤナギが成育
植生変更	・ヨシ群落周囲にネットや杭を設置し、群落の拡大を抑制管理する。 ・カササゲ群落を育成・保全する。 ・水面を確保し、水鳥の営巣などにも配慮する。

JR東北本線の遮蔽

現状	・線路脇のフェンスに沿って生垣を植栽し園内から線路方向の視線に対し緩衝させる。
新植樹種	【中木】イヌマキ・マサキ等

ランドマーク植栽

植生変更	・自然傾斜地形をステージに見立て、対岸からの景観を意識したランドマークとなる縄文の水辺植栽。
新植樹種	【高木】オニグルミ

縄文の海エリア

現状	・水路に沿ってアカメヤナギ群集が成育。 ・草地化が進んでいる（カナムグラ群落）
植生変更	・アカメヤナギの伐採、除去。 ・彩りのある海浜植物により、縄文の海（浜辺）をイメージさせる低層植栽。
新植樹種	【低木・地被】ハマナス等 【草植物】ツワブキ・ハマヒルガオ・ハマゴウ等

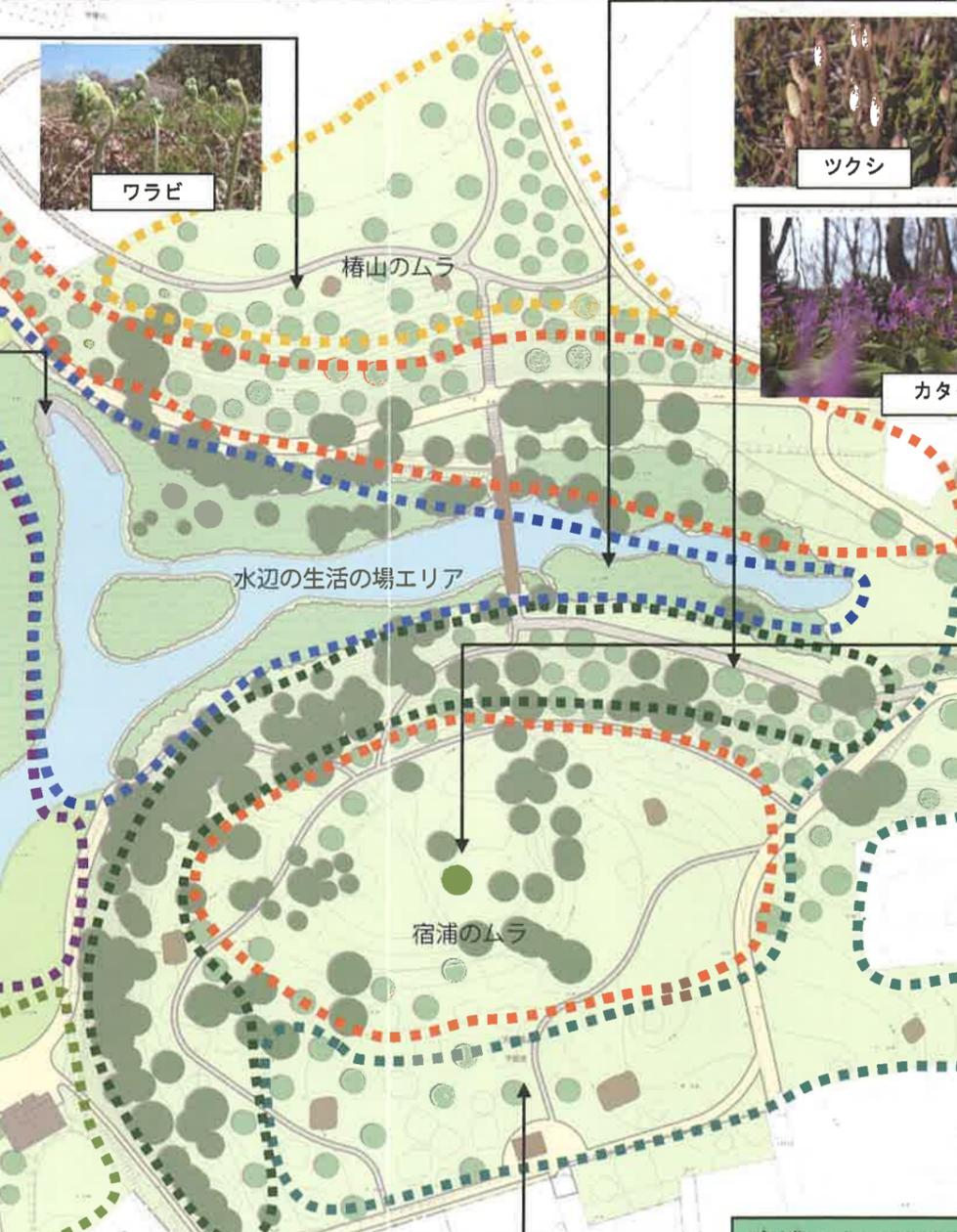


民家隣接部緩衝緑地

現状	・草地化が進んでいる（カナムグラ群落）
植生変更	・南側隣接民家の緩衝植栽。常緑樹の植栽。 ・トイレ棟周辺には、住宅地との緩衝機能を花による修景や香りのある植物の植栽を検討。
新植樹種	【高中木】ヤマモモ・シラカシ・アラカシ・ヤブツバキ等 【低木・地被】ツツジ類・ヤマハギ・ヤマブキ・ハコネウツギ等

椿山のムラエリア（斜面林含む）

現状	・モウソウ竹林が繁茂し、南側斜面にはクスギ、エノキを主とした落葉樹林が成育。
植生変更	・縄文の森の復元。斜面部はコナラ亜属を主体とした落葉広葉樹林の植栽。「黒浜貝塚低地部地質調査及び自然科学分析業務委託 H20」より ・台地上部は市役所南側一帯に広がる「アカマツ林」と連続する森として、アカマツの植林を行う。 ・市民参画による苗木の植栽や市民による「ドングリの森」の育成管理。また、植物で「学び」ができる植生の展開。
新植樹種等	【高中木】クリ・コナラ・ケヤキ・ムクノキ・トチノキ・アカマツ・カエデ類・エゴノキ・シノキ等 クリ 【中低木・地被】ヤブツバキ・サザンカ・グミ・ガクアジサイ・カタクリ等 【食用下草類】ワラビ・ゼンマイ・フキ・ツクシ・タラノキ・ヤマノイモ（ムカゴ）・ウド等



※土が落ち着き次第、計画的に各エリアに食用植物を植栽し、環境学習に役立てると共に、災害時の植物としても活用する予定です。

水辺の生活の場エリア（湧水池の再生）（ハンノキ林の復元）

現状	・ハンノキ林の生育不良・枯死、水面底位化による河畔の植生変化
植生変更	・水面復活や日照確保による縄文時代にも存在したハンノキ林の植栽・復元・再生。カササゲ群落の保全。 ・抽水植物、浮葉植物、沈水植物の再生・復元。
新植樹種	【高木】ハンノキ 【中低木・地被】コムラサキ・ガクアジサイ等 【水生食用植物等】セリ・タビラコ（コオニタビラコ）・ミツバ・ミクリ・マコモ・コガマ・ヒシ・ヒツジグサ等

宿浦のムラエリア（斜面林）

現状	・シラカシを主とした常緑・落葉混交林が主体。 ・針葉樹（スギ）の混在が多く見られる。
植生変更	・原則的に斜面林（高木）は残存させ、部分的に成育しているメダケ類は残す。 ・林床の灌木は除去し、見通しを確保する。
新植樹種	【中低木】ヤマブキ・ヤブデマリ等 【食用下草類】クワ・サンショウ・サルナシ・アケビ・クサイチゴ等

宿浦のムラエリア（台地上部）

現状	・シラカシ林を主体に針葉樹、落葉樹が混交する。
植生変更	・針葉樹、折れ、生育不良木の伐採除去。縄文住居跡上部樹木の伐採 ・花粉分析による古植生に合わせた既存林の間引き整理。 《台地上丘陵地》モミノキ、アカマツ、コナラ、クリ、エゴノキ、シラカシ、オニグルミ等による縄文の森復元。 「平成20年度湧水保全・復活活動支援モデル事業第2編 蓮田市」より
新植樹種等	【高木】クリ・コナラ 【中低木】グミ・ムラサキシキブ等 【食用下草類】オケラ・ヤマノイモ・ワラビ・オミナエシ・イタドリ・キキョウ・カワラナデシコ・ヤマユリ等

宿浦のムラエリア（外周部）

現状	・民家跡であり、撤去後の更地となっている区域と、人為的な造成地となっており、既存樹木は乏しい。
植生変更	・花粉分析による古植生樹種を主体に、ムラを囲む樹林地を再生させ、縄文の森を復元。 ・高速道路、民家に対する緩衝緑地機能を持たせる。
新植樹種	【高中木】ヤマモモ・シラカシ・スダジイ・アラカシ・ヤブツバキ等

※本整備計画は、平成31年度完成を目指していますが、あくまでも計画であり変更されることもあります。

※本図は、「黒浜貝塚整備基本構想」を基本に作成した計画（案）となります。

15. 蓮田市総合文化会館ハストピアの概要

文化活動の拠点施設となる、蓮田市総合文化会館ハストピアは、平成28年10月15日に開館し、多くの方々にご利用いただいています。

【外観】



【ホール客席】



【ホール舞台（反響板設置）】



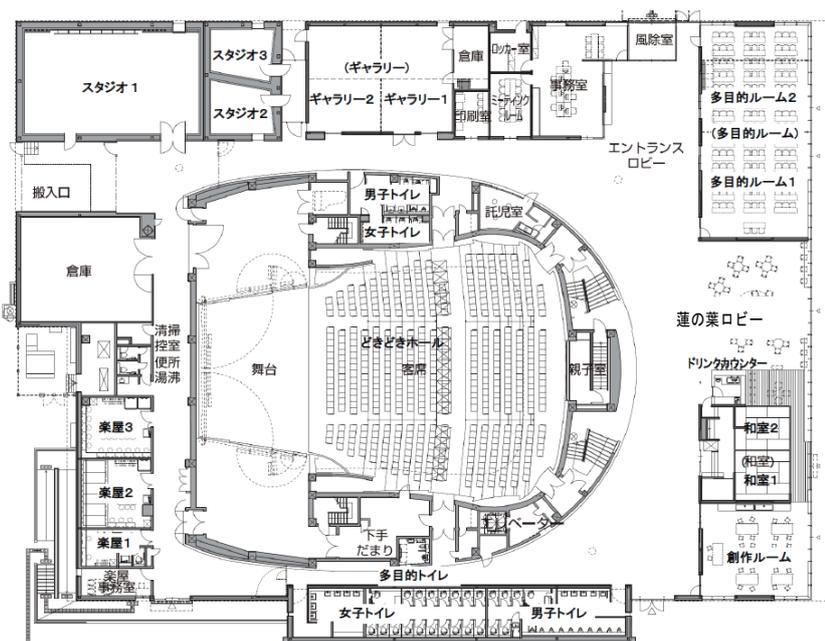
「蓮田市50周年記念コンサート
五条院凌 ピアニスト」
5月28日(土)どきどきホール
16:00 開場 17:00 開演

出演 五条院凌 (ピアノ)

料金 全席指定
前売り 2000円
当日 2500円



【1階平面図】



【建築概要】

建築面積	3216.58㎡
延床面積	4149.02㎡
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 3階建て
ホール	634席 1階 513席、 車いす席2席(最大18席) 2階 119席(ベンチ式)
諸室	多目的ルーム、和室、 ギャラリー、創作ルーム、 スタジオ3室、楽屋3室

16. 街路灯LED化について

市が管理している街路灯 6,084 基のうちLED照明になっているものは、5,666 基^{※1}で、LED化率は 93.1%となっております。LEDは省電力・長寿命であることから、街路灯をLED化することにより、電気料金及び球切れによる修繕料などの維持管理費が大幅に削減できるものです。また、併せて二酸化炭素排出量の削減にもつながります。

平成29年度には、4,883 基をリース方式によるLED照明に切り替えました。平成30年2月に交換工事が完了し、3月から10年間のリース方式による維持管理を開始しています。

今後におきましても、安心安全なまちづくりを推進してまいります。

《リース方式による街路灯LED化の概要》

- 設置数 4,883 基
- LED 街路灯借上料 令和4年度予算 7,862 千円
リース期間 10年間 平成30年3月1日から令和10年2月29日まで
リース期間満了後、市へ無償譲渡
契約金額 79,257 千円



蛍光灯



LED

《LED設置実績》

年度	市施工による新規設置数	リース方式による設置数
平成29年度まで	453 基	4,883 基
平成30年度	44 基	0 基
令和元年度	43 基	0 基
令和2年度	45 基	0 基
令和3年度	129 基	0 基

※1 街路灯の数には、移管や寄付による69基のLED照明の街路灯が含まれています。

17. 在宅医療・在宅介護事業の推進

蓮田市の高齢化率(総人口に占める65歳以上の割合)は、令和4年4月1日現在で、32.2%です。高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。

地域包括ケアシステムの中核機関としての役割を担う地域包括支援センターは、令和3年度に、蓮田駅西口行政センター内に1か所増設し、日常生活圏域(蓮田、黒浜、閨戸・平野)の3か所での運営、取組みを強化しております。

市民の介護予防の取組みを支援します

新型コロナウイルス感染防止のため、外出自粛など不活発な生活によるフレイル(心身の衰えた状態)から、要介護状態となるリスクが高まります。フレイルを予防し、介護が必要となる状態を避けるため、自宅で気軽に介護予防に取り組める“ひと工夫”をまとめた冊子と介護予防体操(はずびい元気体操等)のDVDを配布しています。また、DVDの動画をYouTubeで配信しています。



高齢者の地域での活動を支援します

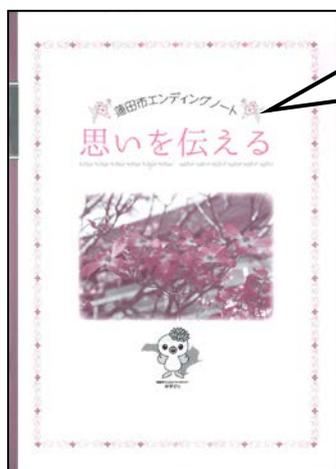
高齢者が住み慣れた地域で集いの場や通いの場、活躍の場を見つけれられるよう、生活支援体制整備事業として「高齢者いきいきマップ」を作成し、配布をしています。

高齢者が多世代と交流し、地域とつながりながら、生きがいをもって生活していただくことを目的として推進しています。



市民の理解が深まるような取組みを進めます

在宅医療・介護についての出前講座を、自治会や地域のグループ等10人以上の団体に向けて行っています。蓮田市オリジナルのエンディングノート「思いを伝える」を活用したACP(アドバンス・ケア・プランニング＝人生会議)の普及啓発のため、市内公共施設・集会所等で説明会や出前講座などを開催し、説明を加えながら配布を行っています。また、在宅生活を支える市内の医療・介護情報をまとめた在宅医療連携ガイドを毎年更新し、3月に公表しています。



告知や延命治療の希望、財産のことなど解説を見ながら整理できます。意思決定が難しくなった時に備え、家族や大切な人と話し合うきっかけとしてご利用いただくことを願っています。



「訪問診療してくれる医療機関は?」「24時間対応してくれる訪問看護ステーションは?」などの情報をまとめ、市民を支える専門職のかたに配布しています。ホームページにも掲載しています。

18. 山ノ神沼周辺について

山ノ神沼東側については平成21年度をもって整備が完了しており、市は自然環境の保全の観点から、残りの用地取得のため、土地所有者との交渉を継続しております。令和2年5月に個人所有地の一部についての不動産鑑定を行い、その鑑定結果をもとに用地取得に向けた交渉に当たっておりました。令和2年12月補正予算には山ノ神沼用地取得費を計上し、可決されたのを受けて、令和3年1月に土地所有者と土地売買に関する仮契約を締結しました。その後、公有地の拡大の推進に関する法律に関する手続きを経て、令和3年第1回臨時会に財産の取得についての議案を提出し可決されました。これにより、令和3年3月31日付で土地売買に関する契約を締結し、沼の底地約8,600㎡の用地取得が完了しました。

今後は残りの民有地の取得を進めるとともに、山ノ神沼の貴重な水辺空間を保全・活用するため、周辺一帯の整備について検討してまいります。

一方で、長年にわたり山ノ神沼の水質浄化などの環境改善に取り組んでいた「山ノ神沼を守る会」が、令和2年度をもって解散となりました。

19. 黒浜沼周辺の整備について

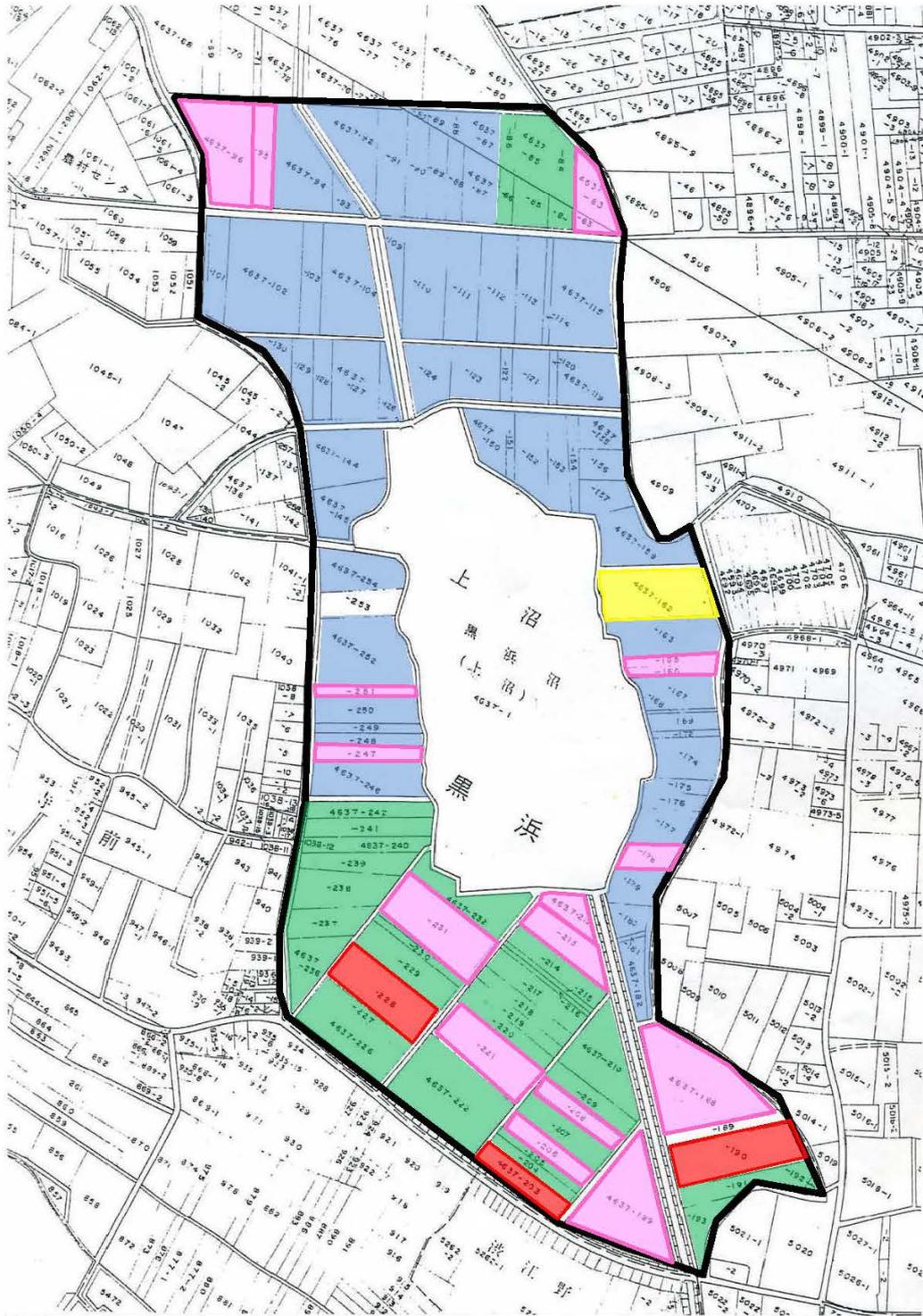
平成21年度に緑のトラスト保全第11号地として指定がなされ、トラスト保全地エリア内87,606㎡のうち、71,589㎡(81.7%・埼玉県と蓮田市の合計)の取得が済んでおります。令和元年度に、残っていた16,017㎡のうち15,124㎡について、地権者との土地売買契約を行い、所有権移転登記が完了いたしました。

現地では公益社団法人さいたま緑のトラスト協会や特定非営利活動法人黒浜沼周辺の自然を大切に作る会などの関係団体による保全管理が行われており、沼の南側では、黒浜沼周辺地権者の方々と協力し、田園風景を維持するため稲作が行われております。

平成20年頃からは、ミシシippアカミミガメの大量発生、また平成25年頃からは、ハスの消失など、自然環境の悪化(ヘドロの堆積、特定外来生物の発生等)が進み、この他にも、乾燥化による動植物の生態系の変化なども見られます。

今後は、数々の問題への対応策を関係団体と協議し、市も積極的に現場管理や情報発信に努め、地元住民の方だけでなく、遠方より訪れる方々が快適に利用できるよう、環境改善と施設整備に努めてまいります。

緑のトラスト保全第11号地 買収地



青	平成21年度 埼玉県取得地	44,687㎡
緑	平成21年度 蓮田市取得地	21,599㎡
赤	平成22年度 蓮田市取得地	3,744㎡
黄	平成27年度 蓮田市取得地	1,559㎡
桃	令和元年度 蓮田市取得地	15,124㎡
白	令和2年度時点で未買収の土地	893㎡

20. 環境学習館新築工事について

環境学習館は、昭和49年に地域交流施設の黒浜農村センター（鉄骨造2階建て、396㎡）として開設しました。平成16年度には、環境の保全に関する活動を支援するとともに、環境学習及び情報の発信の拠点とし、地域に根ざした新しいコミュニティ形成を促進するため、環境学習館として新たにリニューアルオープンしました。その後、平成25年に実施された耐震診断において耐震性が著しく低い事が判明したため取り壊し、平成26年に現在の環境学習館が建設されました。

現在の環境学習館（軽量鉄骨造平屋建て 134.27㎡、敷地面積 2,060.6㎡）は、平成20年に指定された埼玉県緑のトラスト11号地も近いため、市内だけでなく県内各地から人々が訪れております。今後、益々活用が期待されておりますが、建物内に研修室兼会議室が1部屋しか無く、十分にその機能を発揮できておりません。そのため、周辺用地を買収して敷地を拡張し（拡張後の敷地面積 6,081.19㎡）、コミュニティ施設の要素を兼ね備えた複合施設とした環境学習館とすべく、建設計画を進めておりました。令和3年1月には、拡張敷地全ての用地取得が完了しました。現在は、令和4年度の着工に向けて設計等を進めており、令和3年6月には環境学習館建設等検討委員会も設置されました。

新たな環境学習館は、黒浜沼をはじめとする市内に生息している生きものや生態系が学習できるほか、市の自然環境や環境問題などについても学ぶことができるようになります。また「ふれあいの場」として地域の人々や各種団体が身近に、手軽に、そして多目的に利用できる地域コミュニティづくりの場ともする計画です。加えて、地域の人々の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため、各種教養講座、趣味講座、実用講座、イベントなどを開催できるような施設内容を考えております。



23. 蓮田市の財政状況

● 人口

	平成20年4月1日現在	平成25年4月1日現在	令和3年4月1日現在
計	64,028 人	63,321 人	61,761 人
14歳以下	8,015 人 (12.5%)	7,601 人 (12.0%)	6,703 人 (10.9%)
15歳～64歳	42,876 人 (67.0%)	39,282 人 (62.0%)	35,283 人 (57.1%)
65歳以上	13,137 人 (20.5%)	16,438 人 (26.0%)	19,775 人 (32.0%)

● 財政（一般会計歳入歳出決算額の主なもの）

（単位：千円）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歳入総額	20,876,267	18,360,236	20,248,639	19,295,438	20,355,556	27,957,161
市税 （個人市民税）	8,006,544 (3,653,588)	8,061,976 (3,709,244)	8,296,958 (3,738,777)	8,155,943 (3,714,767)	8,174,861 (3,694,085)	8,184,626 (3,680,428)
地方譲与税	151,881	150,559	150,100	151,255	153,219	154,434
地方交付税	2,285,308	2,284,902	2,266,017	2,241,127	2,363,965	2,595,837
市債 （臨時財政対策債）	1,982,706 (1,004,206)	1,002,629 (855,729)	1,049,933 (935,233)	997,782 (891,782)	1,212,206 (774,706)	1,308,361 (776,361)
人件費	3,632,719	3,595,619	3,713,553	3,739,171	3,737,380	3,939,214
扶助費	3,859,256	4,153,587	4,004,165	4,087,165	4,183,908	4,463,872
補助費等	1,328,807	1,268,070	1,307,264	1,382,414	2,248,672	8,170,402
公債費	1,492,176	1,548,084	1,563,801	1,540,027	1,445,729	1,414,868
繰出金	2,412,581	2,502,461	4,199,246	2,954,165	2,842,627	2,303,025
普通建設事業費	4,053,587	1,404,852	1,239,756	1,616,890	1,708,722	1,680,613

● 財政指標（普通会計決算）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
財政力指数	0.772	0.771	0.771	0.774	0.773	0.768
経常収支比率	84.6%	87.9%	87.7%	90.2%	91.3%	88.8%
人件費比率	18.4%	20.7%	19.6%	20.4%	19.4%	14.9%
実質公債費比率	5.3%	5.4%	5.5%	5.7%	5.6%	5.2%
将来負担比率	26.7%	15.8%	4.5%	—	17.9%	9.6%
地方債現在高（千円）	16,115,026	15,676,196	15,246,049	14,772,325	14,593,063	14,530,438

※平成30年度将来負担比率…充当可能額が将来負担額よりも多いため算定されず、「—」と表示しています。

● 基金残高

（単位：千円）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
財政調整基金	1,360,602	1,408,593	1,663,757	1,863,821	1,644,628	1,627,400
公共施設等整備基金	973,565	1,393,756	1,623,820	1,295,984	471,085	881,118
森林環境整備基金	—	—	—	—	—	5,145

● 特別会計（歳入決算額）

（単位：千円）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
国民健康保険	8,740,900	8,709,915	8,789,881	7,151,575	6,519,058	6,194,196
後期高齢者医療	737,882	785,806	854,215	888,494	939,167	973,570
介護保険	4,215,557	4,533,064	4,797,117	4,949,302	5,179,070	5,381,040
下水道事業	1,352,142	1,324,341	1,299,781	1,380,924		
農業集落排水事業	176,006	203,460	196,636	207,904		
馬込下蓮田土地 区画整理事業	79,151	71,557	55,940			
黒浜土地 区画整理事業	240,074	199,942	238,972	25,088	18,450	12,713
蓮田駅西口第一種 市街地再開発事業	156,399	142,403	1,773,562	564,354	1,473,015	1,561,800
合計	15,698,111	15,970,488	18,006,104	15,167,641	14,128,760	14,123,319

● 公営企業

（単位：千円）

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
水道事業	収益的収入	1,207,362	1,186,953	1,251,395	1,326,742	1,319,041	1,232,879
	収益的支出	1,156,422	1,113,942	1,118,330	1,152,005	1,152,006	1,165,083
	資本的収入	77,379	139,038	81,282	231,598	230,299	149,770
	資本的支出	264,065	433,434	338,598	475,261	448,478	442,905
下水道事業	収益的収入					1,312,021	1,316,205
	収益的支出					1,218,353	1,218,817
	資本的収入					649,008	515,523
	資本的支出					860,567	786,520

【参考】財政指標の解説

財政力指数	財政基盤の強さを示す指標。 標準的な行政活動を行う財源をどのくらい自力で調達できるかを示し、この数値が「1」に近く、あるいは「1」を超えるほど財源に余裕があることになる。
経常収支比率	財政構造の弾力性を判断する指標。 人件費、物件費、公債費等の経常的経費に、市税、地方交付税など経常的収入の一般財源がどの程度充当されているかを示し、この数値が低いほど財政構造に弾力性があることになる。
人件費比率	歳出総額中に占める人件費の割合を示す指標。 この数値が低いほど財政運営に弾力性があることになる。
実質公債費比率	実質的な公債費（地方債の元利償還金）が財政に及ぼす負担を表す指標。 地方税、普通交付税のように用途が特定されていない経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金など公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当されたものの占める割合。この数値が低いほど、財政構造の弾力性があることになる。
将来負担比率	市債や退職手当など将来払わなければならない金額が、市の財政規模に対してどの程度のものかを表す指標。 比率が低いほど財政状況が健全なことになる。